

衣類のお手入れ通信

春の雨にはいろいろあります。「春雨」は、早春の芽吹いたばかりの草木に降る静かな雨。「春驟雨（はるしゅうう）」はにわか雨。時に「春雷（しゅんらい）」を伴うこともあります。卯の花を散らす程激しい「卯の花くだし」が降る頃は、夏も間近。ひと雨ごとに春めくと思えば、雨音さえも耳に心地よく響きませんか？

【ドライクリーニングはティッシュペーパーでも洗えます】

時々、お客様から「ドライクリーニングってどういうもの？」とか「乾いた空気で洗うの？」という質問をお受けすることがあります。“ドライ”の意味を辞書で調べますと、“水気のないさま、乾いているさま”と書かれています。直訳すると“乾いた洗濯”となりますから、ご質問にもうなずけます。

しかし、実際に洗濯に使われる化学溶剤は液状です。その由来は19世紀前半。水洗いしか洗濯方法がなかった当時、フランスのある家庭で、テーブルクロスに誤ってランプのオイルをこぼしてしまいました。するとびっくり。それまで水洗いでは落ちなかった油のシミがスカッとキレイに落ち、しかもすぐに乾いてシワの跡すら残らなかったのです。

この画期的な出来事は1855年に開かれた第1回パリ万博で大々的に紹介され、その後“フレンチクリーニング”と称して、世界中に広まっていきました。それから次々と改良を重ねて、現在使われているドライ溶剤へと発展しました。

その特徴としましては、**水で洗って摩擦が生じると収縮や変型したり、シワになりやすい、ウールやシルクといった天然繊維や、レーヨンやアセテートのような、水に浸すだけでふやけたり風合いを損なってしまう化学繊維でも、原型を維持したまま風合いを保って洗いあげることができます。**

現在では家庭用の洗剤や洗濯機もかなり進歩して、水洗い不可の表示の衣料品も洗えるようになりましたが、さすがにティッシュペーパーは洗うと溶けて粉々になってしまいます。しかし実験で、ティッシュペーパーに油シミをつけてドライクリーニング溶剤で洗うと、油シミはキレイに落ち、しかもティッシュペーパーの形も風合いもまったく損なうことはありません。液体で洗うにもかかわらず、お客様が「空気で洗ったの？」と思われても不思議ではない仕上がりが期待できるわけです。

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田 1-6

TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博

愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、津島市、集配致します。